

# 特定非営利活動法人 ウェル・クラフト 第8回理事会議事録

1. 日 時：2019年2月13日（水） 18:00～19:30

2. 場 所：特定非営利活動法人なごみ らいふふいーんど753 2F研修室  
（京都市伏見区竹田北三ツ杭町17番地）

3. 出 席：理事総数：3名

出席者数：3名（うち、書面表決者数：0名）

本人出席者：平野功、中村里美、廣海格

書面表決者：なし

欠席者：なし

オブザーバー出席者：なし

4. 審議事項：1. 製造・販売事業

2. 京都新聞社会福祉事業団「京都新聞福祉活動支援」助成金

3. 計量検定所立入検査

4. クラウドファンディング利用申し込みにあたっての整理事項

5. 介助者操作型電動車いすの認可を求める取り組み

6. 今後の予定

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

1. 製造・販売事業

車いす用体重計

Haさんより依頼、制作中

スタンダード180kgタイプ（塗装なし）

車いす用レインコート

Kiさんのレインコート最終確認済み

最終の手直しをIさんに可能か打診、無理なら別の所に当たる

Koさんのレインコート型紙製作中

Yoさんに生地必要量を出してもらうよう依頼済み

Yoからの連絡待ち

レインコートの縫製の依頼先の確保に向けて

①就労継続支援B型事業所（京都の平均時給額は200円程度か？）

NPO法人 ゆりかもめ（縫製作業をしている、廣海知り合い）など

## 廣海さん連絡（いくらぐらいで引き受けてもらえるのか打診）

- ②総合支援学校
- ③服飾専門学校
- ④事業所 夢どり一む

レインキャノピー（レインポッドは雨水タンクの商品名にあったので名称を変更）

キャノピー状の透明ビニールシートをかぶるタイプ

介助の人も一緒にかぶるタイプの物も検討中

自転車の子ども用の商品を利用して製作開始

### 携帯用手動運転装置

新たなモニターとして脊損連合会京都支部長山本さんに依頼

モニター用、在庫用を製作中

### 車いす電動化ユニット

公道を走れるタイプを製作し走行試験中

介助者操作型電動車いす（2人乗り電動車いす）を認めてもらうための特区申請を他団体・事業所への協力依頼を含めて検討中

介助者型では新たに JINRIKI と併用して車いすの前に置く牽引式（トラクター式）の試験を開始

春頃に走行会（梅小路公園、植物園、鴨川など）をしてアピールすることを計画中

## 2. 京都新聞社会福祉事業団「京都新聞福祉活動支援」助成金

設備部門で申請

全額ではないが、分銅の分を助成するという連絡あり

30万円弱の助成

## 3. 計量検定所立入検査

2/13（水）13:00～実施

提出書類

特定計量器検査規則

型式承認一覧表（該当なし）

検査設備一覧表（該当なし）

組織図と役案(案)

## 4. クラウドファンディング利用申し込みにあたっての整理事項

### (1) ウェル・クラフトの理念・概要説明 (中村担当)

どのような思いで設立し、どのようなメンバーで構成されているか。

理念のキーワード

①繋がる（社会資源、人と人、夢） 人と繋がるものづくり

道具作り、人のつながり、最終段階の夢は空間移動のできるマルチコプター

②障害者の生活に役立つ、豊かにする

③自分たちで作る出す＝社会貢献 ←これをスローガンにする

④物理的な物に対してシステム作り（カーシェアもそのひとつ）

理念案（以前の中村さんの案を少し修正） 次回も検討

～ものづくりで社会に貢献する～

一、障害のある人の生活の質の向上につながるものづくりをする。

→障害のある人の生きづらさの解消につながるものづくりをする。

一、利用者の立場に立ち心をこめたものづくりをする。

一、個人の経験やアイデアを生かし柔軟な思考で課題に取り組む。

一、ものづくりを通して、障害のある人と共に生活課題に取り組み住みやすい社会をめざす。

(2)活動状況 （平野担当）

活動場所・活動時間

(3)ウェル・クラフトの信頼、客観的評価・アピールポイント

どこから信頼や評価を受けているか

①京都新聞社社会福祉事業団の助成金を獲得したこと

②製作過程に関わった人たち、ボランティアの人たちの写真を改めて撮って使う

③工房以外での活動も掲載

レインコートや体重計の納品先など

(4)クラウドファンディングを利用したい事、1との関連、合理性 （廣海担当）

ウェル・クラフトの移動手段として使うこともアピールする

ウェル・クラフトが利用するときも料金を支払う

他団体が利用するときも提供できるようにしたい

(5)その他、今後法人の展開として考えていること

以上のことを分かりやすく説明できると良いのではないか

言語化、写真での効果的なアピール

二人乗り電動車いすの認可に向けての取り組み

5. 介助者操作型電動車いすの認可を求める取り組み

手動車いすと電動ユニットを縦に連結した当事者と介助者の2名が乗る電動車いす

電動車いすが支給されない重度障害者の外出する機会を増やす

①介助者操作型電動車いす（2人乗り電動車いす）を認めてもらうための特区申請の準備を進める。

②他団体・事業所への協力依頼を進める

- ③ 2人乗り電動車いすを開発中の他の企業等との連携を検討する
- ④ 春頃に走行会（梅小路公園、植物園、鴨川など）をしてアピールする

6. 今後の予定

第9回理事会                      3 / 6（水） 18:00～19:30

※下線部分は提案に対する補足や意見

6. 議事録署名人の選任に関する事項

議事録署名人として中村里美、廣海格の2名を選任、承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

議 長                      平野功                      ⑩

議事録署名人              中村里美                      ⑩

議事録署名人              廣海格                      ⑩